

# 令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

## 第3回宮古林業研究会の開催

11月7日（金）

令和7年11月7日に第3回宮古林業研究会を開催した。今回の議題は①宮古島市有林 林野売払規則について、②木材倉庫の導入に向けて、③多良間村水納島の有用樹種検討について、であり、各議題で議論を交わした。

①の市の林野売払規則は、すでに案の作成は終わっているものの、いまだ制定に至っておらず、立木単価の評定等や現状の課題について本課職員から説明を行った。立木単価や市場単価についての意見も多く挙げられ、それらを踏まえた上で次回再度検討することとなった。

②の木材倉庫については、本島における木材倉庫の実績から、宮古島内で木材倉庫を導入した場合の費用対効果について本課職員から説明を行い、費用捻出や効果額等について、意見を交わした。

③の水納島の有用樹種検討については、多良間村担当者より、水納島で放牧されているヤギにより海岸林が食害されているとの相談があり、砂地でも育ち潮風害に強い樹種から検討を行った。会員からは経験則からヤギが食べないとされる樹種や成長が早い樹種等の意見があがり、4樹種の候補が決まった。

引き続き会員間での情報・技術を共有し、宮古島内の森林・林業の推進に向けて取り組んでいきたい。



▲林業研究会で議論している様子